



Special Exhibition

# “Arte Popular,”

The Creative and Critical Power of  
Latin Americans  
2023.3.9(木)–5.30(火)

◎場所: 国立民族学博物館 特別展示館  
◎開館時間: 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
◎休館日: 水曜日(ただし、5月3日(水・祝)は開館、8日(月)は休館)  
◎主催: 国立民族学博物館、公益財団法人千里文化財団、  
大島博光記念館、民族芸術学会  
◎協力: 国立民族学博物館(バンクーバー、カナダ)  
国立歴史民俗博物館、  
UBC人類学博物館(バンクーバー)、民族芸術学会  
◎後援: 日本ラテンアメリカ学会、民族芸術学会  
モロ(飾り布) パナマ共和国 H0186497  
民族、クナ

特別展  
ラテンアメリカの民衆芸術

Special Exhibition

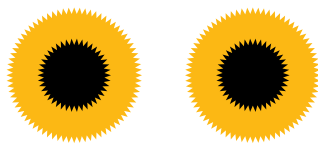
# “Arte Popular,”

The Creative and Critical Power of  
Latin Americans  
2023.3.9(木)–5.30(火)

◎場所: 国立民族学博物館 特別展示館  
◎開館時間: 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
◎休館日: 水曜日(ただし、5月3日(水・祝)は開館、8日(月)は休館)  
◎主催: 国立民族学博物館、公益財団法人千里文化財団、  
大島博光記念館、民族芸術学会  
◎協力: 国立民族学博物館(バンクーバー、カナダ)  
国立歴史民俗博物館、  
UBC人類学博物館(バンクーバー)、民族芸術学会  
◎後援: 日本ラテンアメリカ学会、民族芸術学会  
木彫(ヤキのナフル) メキシコ合衆国 H0268518  
制作: マヌエル・ヒメネス、アンハリーコ・ヒメネス、  
イサアス・ヒメネス

特別展  
ラテンアメリカの民衆芸術





# あふれる色とはじける形

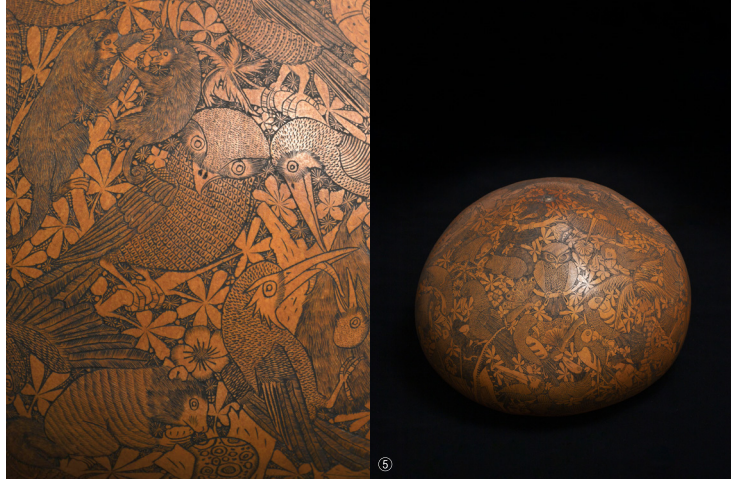
ラテンアメリカでは、民衆のつくる洗練された手工芸品を民衆芸術(スペイン語でArte Popular=アルテ・ポプラル)とよびます。北はメキシコから南はアルゼンチンまで、古代文明の遺物から現代のアート・コレクティブの作品まで、国立民族学博物館が所蔵する作品を中心に約400点のいろいろな民衆芸術作品を展示します。

特別展では、なぜラテンアメリカの民衆芸術はこれほど多様なかという問いを掘り下げます。先コロンブス時代以来の文化混濁の歴史、芸術として洗練されていった過程、そして現代の制作者の批判精神の3点に焦点をあて、その答えを探します。

文化の多様性をはぐくむためには何が大切か。ラテンアメリカのさまざまな民衆芸術に触れながら考えてみましょう。



①毛糸絵 メキシコ合衆国 H0154954 ②女性用衣装 パナマ共和国 H0234278~H0234280 ③レタプロ(サボテンの実) ヘルー共和国 H0167916 ④土人形(儀礼場面) ブラジル連邦共和国 H0190331 ⑤飾りヒョウタン(ジャングル) ヘルー共和国 H0210136 ⑥アルビジェラ「反テロリスト法に否を2」 チリ共和国 大島博光記念館蔵 ⑦玩具(乗合バス) グアテマラ共和国 H0193737 ⑧仮面 ブラジル連邦共和国 H0197332  
写真:六田知弘、六田春彦



## ◎関連イベント ※イベントに関する詳細はホームページをご覧ください。

[みんばくセミナー]  
「民衆芸術——ラテンアメリカの人びとの創造力と批判力」  
3月18日(土)13:30-15:00  
場所:本館第4セミナー室他 講師:鈴木紀(本館教授)

[記憶と抵抗のメディアとしての民衆芸術]  
4月15日(土)13:30-15:00  
場所:みんばくインテリジェントホール(講堂)  
講師:鈴木紀(本館教授)、酒井朋子(京都大学准教授)、細谷広美(成蹊大学教授)、山越英嗣(都留文科大学准教授)

[みんばくウィークエンド・サロン——研究者と話そう]  
「メキシコ絵画と民衆芸術」  
4月2日(日)14:30-  
場所:本館展示場ナビひろば  
話者:鈴木紀(本館教授)

[ワークショップ]  
特別展関連ワークショップ  
「モラ——色紙をかさねて、先住民グナのアート体験」  
4月8日(土)、5月3日(水・祝)各日13:00-15:30  
場所:本館第3セミナー室、特別展示場  
講師:鈴木紀(本館教授)

[研究公演]  
「ヘルーアンドスの民衆の歌」  
4月22日(土)14:00-15:30  
場所:みんばくインテリジェントホール(講堂)  
出演:笹久保伸(ギタリスト)、イルマ・オスノ(ヘルーアンドス地方の歌い手)  
解説:細谷広美(成蹊大学教授) 司会:鈴木紀(本館教授)

[友の会講演会]  
「ラテンアメリカの民衆芸術——キュレーションの挑戦」  
5月6日(土)13:30-15:00(開場13:00)  
場所:本館第5セミナー室 ※オンライン配信あり  
講師:鈴木紀(本館教授)

[みんばく映画会]  
みんばくワールドシネマ「ラ・ヨローナ 彷徨う女」  
5月27日(土)13:30-15:55 (開場13:00)  
場所:みんばくインテリジェントホール(講堂)  
解説:鈴木紀(本館教授) 司会:菅瀬晶子(本館准教授)



## ◎ご利用案内

[開館時間] 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
[休館日] 水曜日(ただし、5月3日(水・祝)は開館、8日(月)は休館)  
[観覧料] 一般880円(600円)、大学生450円(250円)、高校生以下無料  
※( )は、20名以上の団体料金、大学等での授業でご利用の方、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書等) \*大学生は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程 ※障がい者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに、無料で観覧できます。 ※本館展示もご覧になれます。 ※入館当日はチケット半券で再入場できます。 \*観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

## ◎交通のご案内

[大阪モノレール]「万博記念公園駅」,[公園東口駅]下車徒歩約15分  
[バス] 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分  
[乗用車]万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分  
※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。 ※高校生以下の方、「国立民族学博物館友の会」会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんばくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。 ※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



ご来館のみなさまへ  
新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。事前にホームページでご確認ください。

国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

〒565-8511  
大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
Tel: 06-6876-2151(代)  
Fax: 06-6875-0401  
https://www.minpaku.ac.jp/

